



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和6年6月21日
文責：校長



* 本校ホームページ→

今日の成果は過去の努力の結果であり、 未来はこれからの努力で決まる



20日に今年度初めてとなる定期テスト（前期中間テスト）を行いました。1年生にとっては、初めての定期テストです。小学校のテストに比べて出題範囲が長く、問題数も多いので戸惑いがあったかもしれません。しかし、テスト中は真剣な眼差しで、滑らかに鉛筆を走らせていました。

本校の定期テストは、年間4回（前後期でそれぞれ中間と期末）です。テストは、「日々の学習で身に付けたことを確実に活用できるようになっているか。」といった現状把握のためにあります。そして、これを受けて、自分の取組を改善したり、十分に身に

付いていないところを補充したりしていくねらいがあります。結果のみに一喜一憂するのではなく、今後はどう生かすかが重要です。「成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力によって決まります。」。目標に向かって計画的に見通しをもって向かう姿勢が大切なことは、テストに限ったことではありません。限られた時間を有効に活用することで、更なる伸長を目指してほしいと思います。

応援ありがとうございました



14～16日に、部活動の集大成となる郡市総体が行われ、各会場で手に汗握る熱戦が展開されました。これまで積み重ねてきた力を一気に爆発させるかのようなエネルギーが感じられました。選手も、応援団も、それぞれの役割に全力を注ぎ、まさに「心ひとつ」に目標に立ち向かいました。残念ながら、目標に届かなかった人もいるかもしれませんが、仲間とともに夢中になって打ち込む経験は、今しかできないかけがえのないものです。総体に参加した選手一人一人が新たな目標に向かってくれることと思います。結果の詳細は別紙をご覧ください。

認定証交付



14日に秋田市で、理科教育の振興のために助成を行う齊藤憲三・山崎禎一顕彰会の研究助成認定交付式が行われ、科学部部長の高橋希さんに認定証が授与されました。本校の科学部は開校以来「トミヨ属雄物型」を継続研究しています。今年度も、この取組が認められての認定証交付となりました。



19日に、交流しているタイ王国ノンタブリー県の第一初等教育局及びアニューラチャプラシット校の方々と美郷町教育委員会・本校職員で、今後の交流に関わるWeb会議を行いました。今年度は8月19～23日に本校生徒12名がノンタブリー県のアニューラチャプラシット校を訪問します。ノンタブリー県は首都バンコクに隣接し、都心から約20kmの距離に位置しています。アニューラチャプラシット校は、小・中学生約3,000人が在籍する大規模校です。本校での訪問受け入れは12月の予定です。